

5 年間発育量の世代間比較

平成29年度調査の「平成11年度生まれの者」と、30年前の昭和62年度調査の「昭和44年度生まれの者」（親世代）について、6歳から17歳までの各年齢間における身長、体重の年間発育量を比較すると、以下のとおりになります。

(1) 身長 (図9、図10、表7)

身長の年間発育量について「平成11年度生まれの者」と親世代とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成11年度生まれの者」が11歳～12歳で8.4cm、親世代は12歳～13歳で7.2cmとなっています。女子では、「平成11年度生まれの者」が9歳～10歳および10歳～11歳で7.0cm、親世代は9歳～10歳で6.5cmとなっています。

最大の年間発育量を示す時期は、男子では「平成11年度生まれの者」が親世代より早い時期となっています。一方、女子では、両世代とも同じ時期となっています。

(cm) 図9 平成11年度生まれの者と昭和44年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(身長・男子)

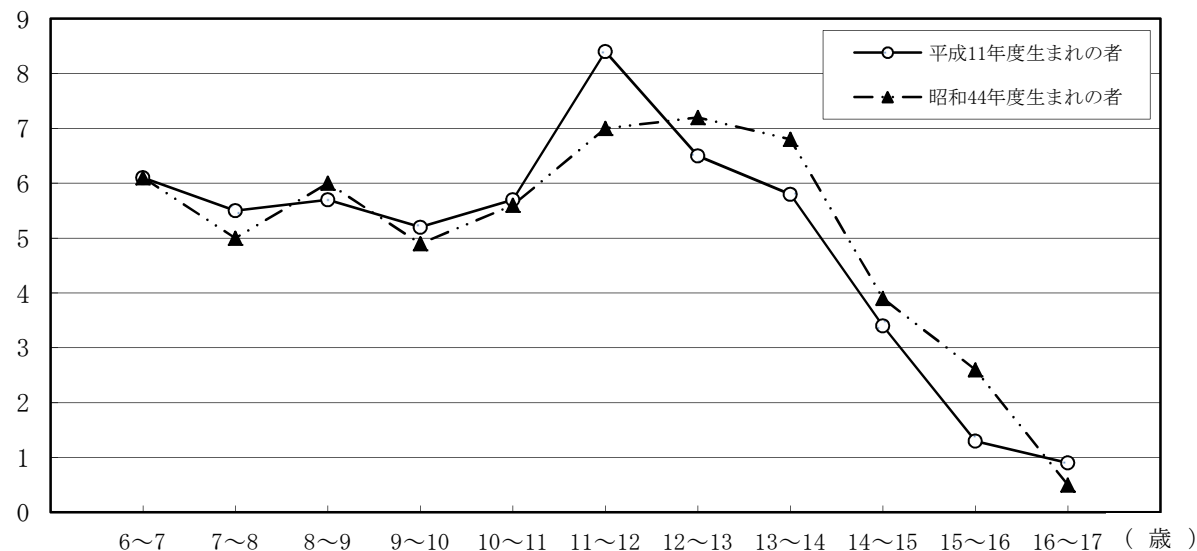
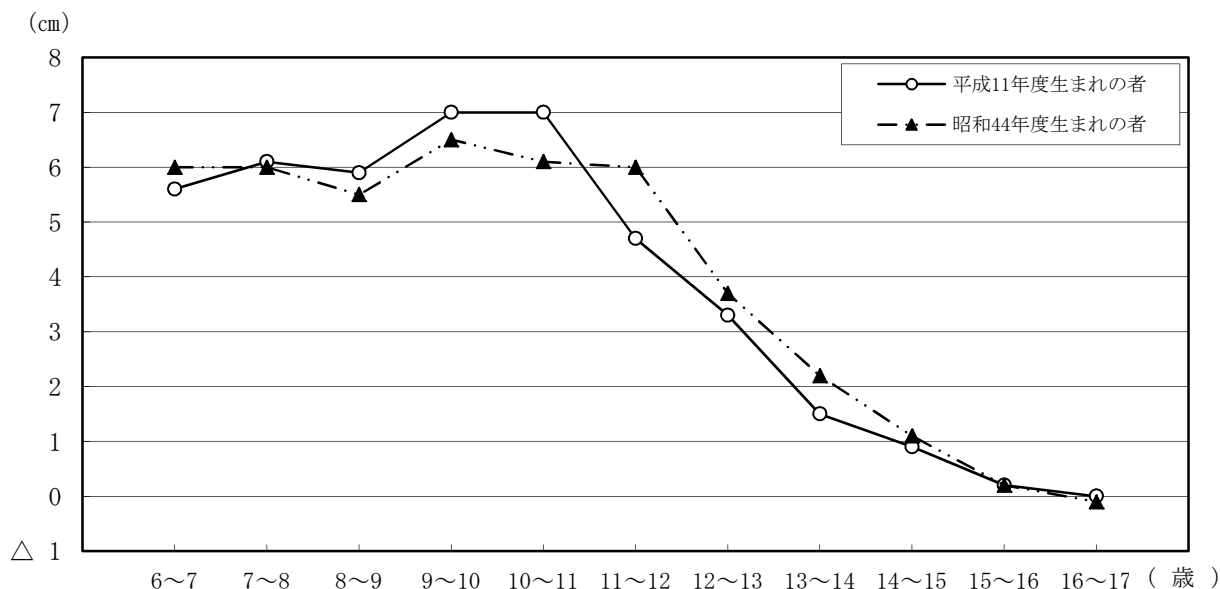


図10 平成11年度生まれの者と昭和44年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(身長・女子)

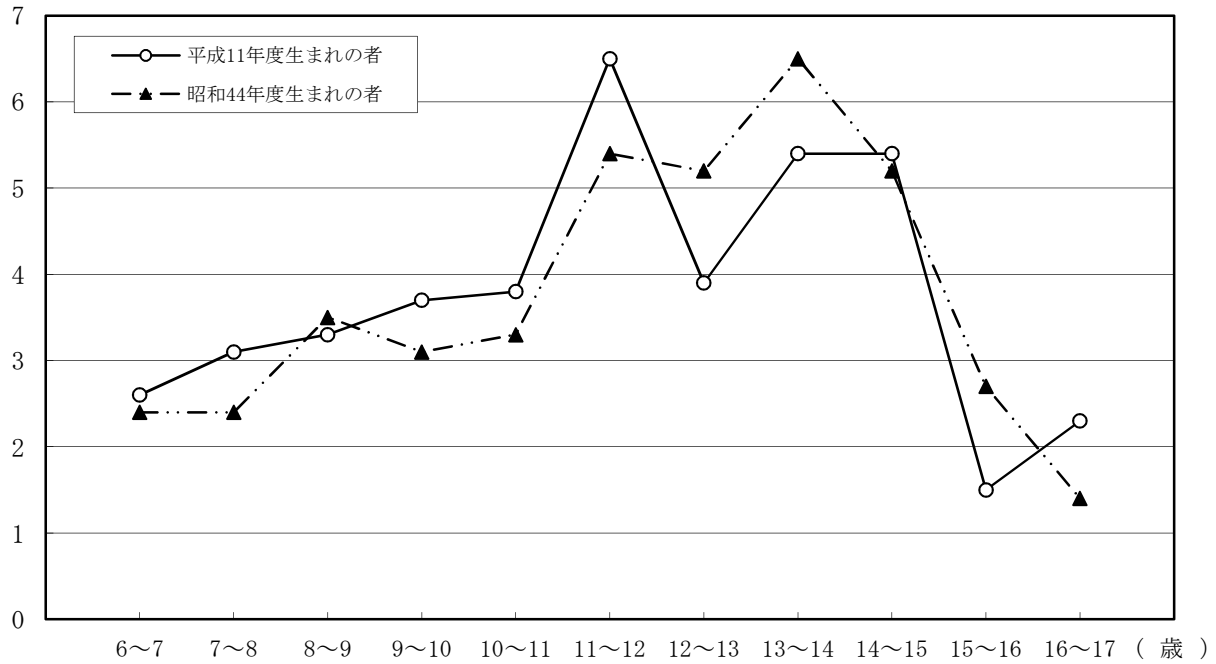


(2) 体重 (図11、図12、表7)

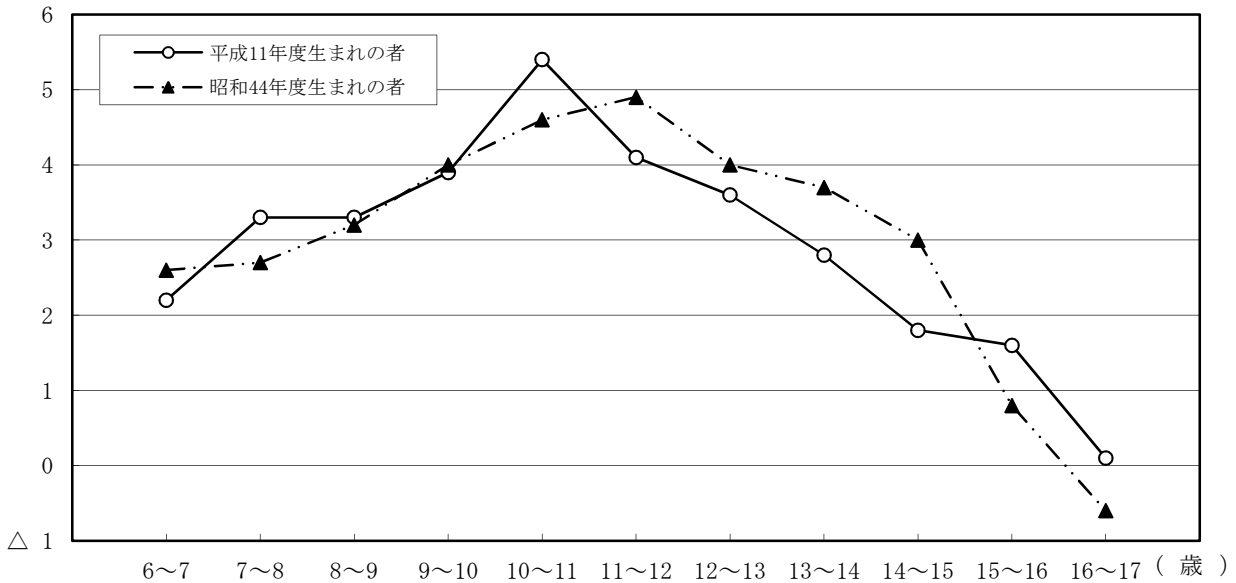
体重の年間発育量について「平成11年度生まれの者」と親世代とを比較すると、最大の年間発育量を示す時期は、男子では、「平成11年度生まれの者」が11歳～12歳で6.5kg、親世代は13歳～14歳で6.5kgになっています。女子では、「平成11年度生まれの者」が10歳～11歳で5.4kg、親世代は11歳～12歳で4.9kgになっています。

最大の年間発育量を示す時期は、男子、女子ともに「平成11年度生まれの者」が親世代より早い時期となっています。

(kg) 図11 平成11年度生まれの者と昭和44年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(体重・男子)



(kg) 図12 平成11年度生まれの者と昭和44年度生まれの者(親世代)の年間発育量の比較(体重・女子)



(3) 11年間(小1～高3)の総発育量の比較(表7)

身長(6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成11年度生まれの者」が親世代よりも男子は1.1cm、女子は1.0cm小さくなっています。

また、体重(6歳から17歳までの11年間の総発育量は、「平成11年度生まれの者」が親世代よりも男子は0.4kg大きく、女子は0.8kg小さくなっています。

身長と体重の発育量を小学校の時期(6歳から12歳までの時期)と中学校・高等学校の時期(12歳から17歳までの時期)とに分けてみると、男子、女子ともに小学校の時期は「平成11年度生まれの者」の方が大きく、中学校・高等学校の時期は親世代の方が大きくなっています。

表7 「平成11年度生まれの者」と「昭和44年度生まれの者」(親世代)の年間発育量

区分	歳時	身長(cm)				体重(kg)			
		平成11年度生まれの者		昭和44年度生まれの者		平成11年度生まれの者		昭和44年度生まれの者	
		年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計
男子	6歳(小1)～7歳(小2)	6.1		6.1		2.6		2.4	
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.5		5.0		3.1		2.4	
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.7	36.6	6.0	34.6	3.3	23.0	3.5	20.1
	9歳(小4)～10歳(小5)	5.2		4.9		3.7		3.1	
	10歳(小5)～11歳(小6)	5.7		5.6		3.8		3.3	
	11歳(小6)～12歳(中1)	8.4		7.0		6.5		5.4	
	12歳(中1)～13歳(中2)	6.5		7.2		3.9		5.2	
	13歳(中2)～14歳(中3)	5.8		6.8		5.4		6.5	
	14歳(中3)～15歳(高1)	3.4	17.9	3.9	21.0	5.4	18.5	5.2	21.0
	15歳(高1)～16歳(高2)	1.3		2.6		1.5		2.7	
	16歳(高2)～17歳(高3)	0.9		0.5		2.3		1.4	
	11年間の総発育量	54.5		55.6		41.5		41.1	
	年間発育量の最も大きい年齢	11歳～12歳		12歳～13歳		11歳～12歳		13歳～14歳	
	女子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.6		6.0		2.2		2.6
7歳(小2)～8歳(小3)		6.1		6.0		3.3		2.7	
8歳(小3)～9歳(小4)		5.9	36.3	5.5	36.1	3.3	22.2	3.2	22.0
9歳(小4)～10歳(小5)		7.0		6.5		3.9		4.0	
10歳(小5)～11歳(小6)		7.0		6.1		5.4		4.6	
11歳(小6)～12歳(中1)		4.7		6.0		4.1		4.9	
12歳(中1)～13歳(中2)		3.3		3.7		3.6		4.0	
13歳(中2)～14歳(中3)		1.5		2.2		2.8		3.7	
14歳(中3)～15歳(高1)		0.9	5.9	1.1	7.1	1.8	9.9	3.0	10.9
15歳(高1)～16歳(高2)		0.2		0.2		1.6		0.8	
16歳(高2)～17歳(高3)		0.0		△0.1		0.1		△0.6	
11年間の総発育量		42.2		43.2		32.1		32.9	
年間発育量の最も大きい年齢		9歳～10歳、11歳～12歳		9歳～10歳		10歳～11歳		11歳～12歳	

(注)・年間発育量は、たとえば平成11年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成19年度調査の7歳の体格から平成18年度調査の6歳の体格を引いたものです。

・11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。

・平成11年度生まれの者とは、平成11年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた者で、平成18年度調査の6歳、平成29年度調査の17歳です。

・昭和44年度生まれの者とは、昭和44年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた者で、昭和51年度調査の6歳、昭和62年度調査の17歳です。